

おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより
第8号 令和2年12月17日(木)

校長 福沢 俊之
Tel (03)3831-3787



学校ホームページ
<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1320111>



合同弁論大会から

校長 福沢 俊之

12日(土)、例年行われている4校合同の弁論大会(東京上野ライオンズクラブ主催・黒門小、忍岡小、忍岡中、本校の4校参加)が、感染症予防対策を講じた中で開催されました。本校からは、次の5名の生徒が参加し、自分の身近なテーマを通してそれぞれの個性が光る内容のスピーチを披露してくれました。審査委員長の方からも講評の中で、お褒めの言葉をいただきました。

《 1年 「夢の音色」 》

コロナウイルス感染拡大は、ピアニストになりたいという夢への向かい風になってしまってるが、著名なフランスのピアニスト、コルトーの言葉を支えに自分の気持ちと向き合いながら、力強く歩んでいる様子が伝わってくる発表でした。

《 1年 「大人の階段をのぼっていく私」 》

2年生に加わって出場したバスケットボールの新人戦で悔しい敗戦をした後、チームとして気持ちを切り替え次の試合に臨む経験の中で、自分の気持ちが変わっていく様子、自分自身が「成長する姿」を、素直な言葉で生き生きと表現してくれました。

《 2年 「こころのバリアフリー」 》

社会に存在するバリアを、物理的、制度的、文化情報、意識上、の4つに分け、具体例をあげて述べてくれたことはとてもわかりやすく、その中で「意識上のバリア」こそ私たち誰もがそのバリアを「フリー」にできるとの訴えはとても説得力がありました。

《 2年 「人間」 》

身近な家族の中であっても「相手のことを思い、相手の良いところを探すこと」によって自分自身の気持ちも穏やかになり、結果として周りも変わってきたという経験は、心温まる内容であり、社会全体に広がっていくことが望まれる「人とのつながり方」を示してくれました。

《 3年 「動物にも生きる権利を」 》

飼えなくなった動物が殺処分されてしまう現実があることに注目し、ペットと人間という関係ではなく尊い命を授かった者として何ら差異はないという見方をすることで、「動物にも生きる権利を」と訴える内容は、命に対する根本的な考え方を示すものでした。

今、SNSの普及によってコミュニケーションのスピードが速くなり、その結果として感覚的な短い言葉のやりとりに終始し、相手に自分の考えや気持ちを丁寧に伝えようとするのがおろそかになりがちのように思います。弁論の5人は、この弁論の原稿を書くに当たって、身の回りのことや社会全体のことなどに関心を寄せたり、自分の気持ちと向き合ったりしながら、自分の考えを言葉、そして文章に表現する作業を丁寧に行ってきたことと思います。さらに当日、それをどのように伝えようか、ということについても、工夫し練習を重ねてくれたことがよく分かる立派な発表でした。読書の意味について「自分の心の中に失いたくない言葉の蓄え場所を作り出すこと」というある詩人の言葉を紹介した記事を思い出しますが、自分の考えを文章に表したり言葉を選びながら相手に伝えたりする行為は、結果として、自分だけでなく聞く人や読む人にとっても、印象深い言葉やその人の考えを心に残していくことができると感じた大会でした。

各校ごとに審査をした結果、本校は、
最優秀賞 1年 「夢の音色」
優秀賞 3年 「動物にも生きる権利を」となりました。

落ち葉掃きボランティア行われる

毎年落ち葉が舞い降る季節になると各学年でボランティア活動として、落ち葉掃き清掃が行われます。1年生は11月27日(金)、2年生は12月2日(水)、3年生は12月9日(水)と16日(水)の2日間に分けて行いました。朝早くから多くの生徒が集まり、寒い中でも一生懸命に落ち葉掃きを行っていました。学校

周りが綺麗になると気持ちもすっきりしました。



日本の伝統的言語文化を体験



12月11日、1学年では落語教室を体育館にて行いました。落語協会から柳亭市弥様と柳家圭花様に来校していただきました。2クラスずつ、時間を分けて落語についてのお話と実際に落語家による落語を鑑賞しました。一部の生徒が実際に高座に上がって、落語体験もしました。1学年の表現力豊かな一面が見られ、盛り上がりました。これからの表現活動に今回の体験を生かして行ってほしいと思います。

上野間税会会長が来校し表彰式

11月24日(月)に上野間税会会長の亀山実様が来校されて、校長室で表彰して頂きました。

- 税の標語 台東区長賞
1年 「消費税 正しく知ろう 使い道」
- 税の標語 上野間税会会長賞
2年 「知って学んで 納税しよう 日本のために」
- 税の標語 全国間税会総連合会入選
1年 「考えよう 皆を支える 消費税」



ちなみに関税ではないかと思われる方もいるかもしれませんが、「間税」です。間税(間接税)とは、消費税、酒税、たばこ税、などのように、納税者と直接税を負担する者が異なる税で、この税金分は通常、取引価格に上乗せされて取引先に転嫁されていきます。

関税は、別の国から買ってくるモノ(輸入品)に掛けられる税金です。国内の農家やメーカーを保護することを目的としています。輸入品に関税が上乗せされると、関税の分だけ値段が高くなるので、価格の面で国内品が売れやすくなります

台東区学校教育情報化推進のための環境整備について

◆今年度(令和2年度)、台東区立学校において、児童・生徒1人1台の端末整備をはじめとするICT教育環境の充実を図ります。これは、台東区学校教育ビジョン及び国の「GIGAスクール構想」が示す教育環境の整備と活用の在り方に基づき、本区がこれまで実践してきたICT教育の発展・拡充を図るために実施するものです。

この度、本区におけるICT教育環境整備の概要に関する資料が作成されました。「家庭でも学校と同じ端末を使える」環境を活かした教育活動によって、児童・生徒が情報を整理し表現する力などの「情報活用能力」を更に育み、新たな学びの可能性を広げることができるよう、今後もICT教育環境の効果的な活用を推進してまいります。資料については、台東区のホームページからご覧になれます。